

習志野市

「学校における防災学習の実践」

避難所学習・地域との学び



習志野市教育委員会
学校教育課

安全教育（藤崎小学校）

研究主題

安全安心なまちづくりに貢献できる児童の育成 ～学校・家庭・地域で取り組むSDGs～

授業者	教科	内容
特別支援	自立活動（災害安全）	地震に備えよう
1年	生活科（生活安全）	校内の安全マスターをめざそう
2年	生活科（生活安全）	はっけんしたよ町のこと
3年	総合的な学習（交通安全）	藤崎交通安全かるたを作ろう
4年	社会科（災害安全）	自然災害からくらしを守る
5年	総合的な学習（災害安全）	その時、君ならどうする？
6年	社会科（交通安全）	わたしたちの生活と政治～地域の安心安全への願いを実現する政治～

安全教育（藤崎小学校）

5年生 総合的な学習の時間

「その時、君ならどうする？」

<学習内容>

- 千葉県の台風被害について知る。
- 習志野市で起きた自然災害について知る。
- 学校が避難所になった時に自分たちにできることを考える。
- 避難所の実態を知る。⇒危機管理課
防災倉庫見学、避難所の様子
- 避難所体験を行う。

段ボール間仕切り



簡易テント組み立て



避難所体験

運営係説明



危機管理課から



避難所運営体験①

(新型コロナ対応)

計画



準備



準備ってすごく大変

設営

みんなに伝わるように指示を出すって難しいな。



16家族くらいしか入れないよ

避難所体験



何もないと ひま



明るすぎは眠れない



アイマスクを作ろう

明かりがあると落ち着く



たくさん来たら大変



入れない人たちは断らなければならないのかな。

避難所運営体験②

受付



設営から体験、
片付けまで
行いました!



地域の方が12名ほど
参加して下さいました。

簡易ベッドも協力して
自分の力で!



危機管理課も見に来て
下さいました。



防災士の方も参加

簡易トイレ・段ボールベッド作成

思ったより簡単に作れるな。



普通のベッドと変わらない!



ぜんぜんつぶれないね。



段ボールでも丈夫だな。



HUG (避難所運営ゲーム)



説明を聞く



話し合って配置する

防災学習を生かして、避難してきた人を配置することができた。

避難所の大変さを実感した。



考えを発表する

避難所には地域以外の人もたくさん避難してくることがわかった。

避難所の運営の大変さが理解できた。自分もできることはしたい。

防災福祉体験の実践①

お金がうまくつかめない



高齢者体験

おなかが重くて仰向けで眠れない



妊婦体験

何も見えないのは不安



白杖体験

思ったより段差がこわい



車いす体験

防災福祉体験の実践②

避難所を想定して・・・介助の仕方

地域リハビリテーション講座



目の見えにくい方、
車いすの方が
避難所に来たら？



トイレは不便。手洗
いの蛇口も遠い。



地域の方との実践①

新聞スリッパの作り方を教えます

炊き出しの手伝いはできる!



地域コミュニティの場

防災リーダーの方の話を聞く

みんなで協力することの大切さを知る



地域の方との実践②



炊き出し「準備」



炊き出し



公民館での発表



地域の方を招いて

地域の方との実践③

DIG (災害図上訓練)

北海道教育大学 佐々木貴子先生

地域の方、保護者、危機管理課、消防署 を招いて



地域の危険・
安全を確認



地図をつなぎ合わせる



防災学習発表会

地域の方がたくさん
いらしてくださいました。

発表内容

体験談をもとにした紙芝居
地震博士になろう
1000円でそろそろ防災グッズ
命を守る心肺蘇生法
場所別身の守り方
今すぐ!家の備え
避難所体操1, 2, 3



防災学習実践校の成果と課題

成果

- ・防災意識の向上、自己有用感がもてる
- ・自分で考え、判断することの大切さに気付く
- ・あいさつ、学び方、協力性に变化
- ・相手意識 思いやりの心 命の重さを実感

課題

- ・防災学習の進め方がわからない
- ・時間が確保できない
- ・教師の知識を増やす機会がない
- ・大人の防災意識の個人差
- ・いざというときに活かせる避難訓練